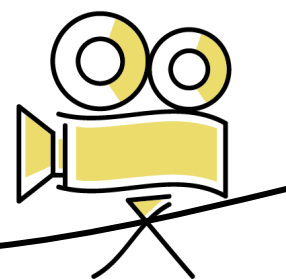


シアタールーム



閲覧室
おすすめ
映像リスト

シアタールーム内での映像の撮影は禁止です



1. 琉球の風物

1938年 [T00012321B] 複写制限 有声/モノクロ 11分

昭和13年日本民芸協会が企画した琉球の風物の短編映画。南国特有の風景(ソテツ、アダン、リュウゼツラン等)、首里城とその周辺、浦添ユードレ、舞踊(加那よー、浜千鳥、組踊など)、糸満の漁業、行商、市場の婦人達。空手の演舞。戦前の首里城周辺(正殿、守礼門、歓会門、円覚寺等)、真玉橋、孔子廟、葬式の行列など。

[企画/日本民芸協会 制作/日本短編映画社・大日本文化映画製作所]



2. 琉球の民芸

1938年 [T00012306B] 複写制限 有声/モノクロ 11分

「琉球は民芸の宝庫であり、何気ない日常品の中に美がある」と主張する柳宗悦ら日本民芸協会の主張を映画化したもの。芭蕉布から始まり、紅型、壺屋焼等を紹介。芭蕉布作業の婦人手に「ハジチ」。壺屋焼きの紋様描きは、若き日の金城次郎か？

[企画/日本民芸協会 制作/日本短編映画社・大日本文化映画製作所]



3. 沖縄

1940年 [0000130757] 複写制限 有声/モノクロ 14分

すでに戦時体制下にあった昭和10年代の沖縄の人々の生活や風物を描いた短編ドキュメンタリー。那覇や首里の市街や農村の風物・風景の映像に、いつしか大東亜戦争の戦意高揚を促すナレーションがかぶさる。日本帝国主義が沖縄に与えた役割をうかがい知ることができる。

[制作/東京日日新聞社 大阪毎日新聞社 編集/近藤興吉]



4. 海の民 沖縄島物語

1942年 [0000015507] 有声/モノクロ 28分

首里城、守礼門で「首里古城」を唄う県立第二高女生。糸満の勇壮な追い込み漁、家を守る女たち。魚売り。当山久三碑の「いざゆかんわれらが家は5大州」移民の海外雄飛、そしてハーリーは「海洋制覇の精神をここに伝える」と賞賛する。最後は拓南訓練所の生徒たちの唱和。

[制作/東亜発声映画]



5. 河村只雄 資料

沖縄本島及び周辺の離島の風物

[T00022488B]

無声/モノクロ

1936年(昭和11) から1940年(昭和15) にかけて沖縄の民俗調査を行った河村只雄の映像資料。

- 01- 市場 波上宮
- 02- 宝来館 識名園
- 03- 識名園 辻の踊の一部
- 04- 琉球の踊り 1
- 05- 琉球の踊り 2
- 06- 首里城 放生橋 博物館
- 07- 糸満
- 08- 糸満の墓 糸満の町 伊平屋の一部
- 09- 浦添宮城の闘牛
- 10- 浦添宮城の闘牛 万座毛 今帰仁 ライ病院 今帰仁ノロ
- 11- 名護町 やどやの場面 名護城
- 12- 野甫の一部 伊平屋島 ブタ便所
- 13- 伊平屋 お祭り 綱引き 拝所 伊是名
- 14- 那覇港(軍艦)鹿兒島と岡山の一部
- 15- 姫路のお城他

その1(01~10) — 33分

その2(11~15) — 18分

6-1. 沖縄戦 Battle for Okinawa No.2

1945年 [0000033377] 有声/カラ- 29分

沖縄空撮 本島上陸 地上戦の様子 手榴弾投入 火炎放射器で集落を焼く パラシュートで物資を投下 シュガーローフの攻防戦 米軍につかまった住民たち 収容所 川の中のジープ ブルトーザーと米兵 泥道を行くトラック

[沖縄戦関連映像フィルム 撮影/第3水陸用部隊、海兵隊第1部隊、海兵隊第6 部隊]

6-2. 沖縄戦 Battle for Okinawa No.3

1945年 [0000033381] 有声/カラ- 23分

沖縄戦も終盤にさしかかった頃の戦場の記録を編集したもの。泥の川をわたる米兵、瓦礫と化した首里/首里城、那覇進行、火炎放射器の威力、南部戦線、捕えられた日本軍捕虜、北部山岳帯での戦闘、星条旗掲揚といったシーンが見られる。

[沖縄戦関連映像フィルム 撮影/第3水陸用部隊、海兵隊第1部隊、海兵隊第6 部隊]



7. 明日を導く人々

1952年 [U000000054B]

有声/モノクロ

30分

1950年代のアメリカ留学生の生活や授業風景などを報告。出発前の琉大での送別会、家族との別れ、出港、サンフランシスコ到着。6週間の予備教育を受けて各地に配属される。石川もりまさ（沖縄、産業 ルイジアナ行）、宮良ようえい（八重山、政治学 オレゴン行）、岡市勇三（奄美 ウイッテンバーグ行）、田崎くにお（宮古、精神医学 ニューヨーク行）明日の沖縄を担う若い人材育成の必要性を強調する内容。

[製作/米国軍政府情報教育部]



8. 琉球ニュース No.6

1954年 [0000065868]

有声/モノクロ

15分

南米ボリビアへ移民団出発、国民指導員アメリカを視察、オグデン副長官等渡俱知(渡具知)部落を視察、那覇丸の就航祝、交通安全週間ポスターの優秀作品きまる、名護英語学校卒業式、琉米親善卓球大会

[制作/琉球列島米国民政府]



9. ハワイに生きる

1969年 [T00002949B]

有声/カラー

83分

ハワイ沖縄移民65周年記念映画。第一部は1965年5月の記念式典の様子を紹介しながら、一世たちの砂糖きびやパインなどでの、開拓の歴史と苦難の道のりを描き、第2部では現在ハワイのあらゆる事業で活躍する県系人の姿をインタビューをまじえて紹介する。「ハジチ」を見せる新垣マツ(80)、2世部隊(442連隊)で息子二人が戦死した島袋さん(ポンチボール国立墓地)。一族4代が勢ぞろいした与儀夫妻(中城出身)など。

[企画/監督/比嘉太郎]



10. 開拓の地 八重山

1950年代後半 [0000137961]

無声/カラー

16分

[制作/米国民政府]



11. THE OKINAWAN 沖縄

1960年 [T00002985B] 複写制限

有声/カラー

43分

アメリカ民政府の協力によって、ハワイ移住者が製作した「琉球列島の物語」。当時の沖縄の様子を、産業(さとうきび作り、工芸品)や年中行事(お盆、運動会など)を紹介しながら、島の発展の様子を描く。「過去・現在・未来が息づく島が移住地の発展に貢献した」と結ぶ。戦跡(摩文仁の慰霊碑)、国際通り(国際劇場、国映館、りうぼう等)。名護市陸上競技場(全島大会の様子)、琉球大学の建物、南風原の大城がすり工場、糸満の綱引きなどがある。

[撮影/監督/宮本ハロルド]



12. OKINAWA 沖縄

1963年 [G00024389B] 複写制限

有声/モノクロ

26分

沖縄の観光映画。自然、歴史を紹介しながら各地を案内する、国際通り、首里、壺屋、紅型、歌と踊り、空手、万座毛、名護城跡、辺戸岬、八重山宮良家、西表の山林、中部の闘牛、南部戦跡(バックナーの碑、ひめゆり、健児の塔)など。泡瀬のゴルフ場、北部名護の七曲がり、「白い煙黒い煙」の碑、オリオンビール工場、製糖工場、糸満門中墓。

[企画/琉球政府 制作/福原健司]



13. 沖縄の声

1969年 [T00022491B] 複写制限

有声/カラー

30分

戦後10年目の町の様子、上京した児童代表団の見た「本土」、若者が考える沖縄の現状、移住地へ出発する人々、基地に依存する生活、ベトナム戦と沖縄など、沖縄を多角的にとらえたドキュメンタリー。

[制作/毎日映画社]



14. ボリビアに拓く 緑のコロニア

1970年 [T00022542B] 複写制限

有声/カラー

37分

1955年に第一回目の移住者を迎えた「コロニア沖縄」の15年の苦闘の歴史と、第1から第3コロニアの現状をルポ。原始林の開拓、スクールバスと教育、トウモロコシ、陸稲栽培、肉牛飼育、コロニア沖縄中央病院の活動などを紹介。

[企画/海外移住事業団]



15. 船出 ー沖縄編ー

1971年 [T00022530B] 複写制限

有声/カラー

24分

昭和46年2月、名護市二見の仲尾次政長さん一家10人が、長男が待つブラジルに移住した。五男四女の大家族。出発の準備にあわただしい仲尾次家のそれぞれの感慨を同級生、友人、村人たちとの送別会や家族との会話を通して描く。復帰を前にした沖縄のもうひとつの現実。

[制作/日本テレビ]



16. 限りなき大地に アルゼンチン・パラグアイ

年代不明 [T00022539B] 複写制限

有声/カラー

30分

「可能性を信じ、南米大陸に生きている」移住者たちをパラグワイ、アルゼンチンにルポした内容。パラグワイ、イグアス移住地の大豆、養鶏、養豚に励む人々。アルゼンチンでは、花卉野菜栽培など。移住者たちの前向きの姿勢と明るい表情が印象的である。アスンシオンの街、コルメダ移住地、プエノスアイレス花市場、エスコバル花栽培発祥地。

[制作/(株)毎日映画社 企画/国際協力事業団]



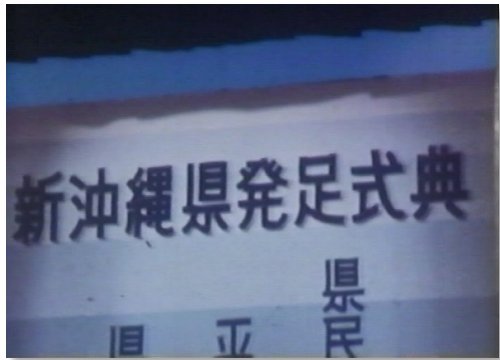
17. 読売国際ニュース

1955～1975年 [T00022497B] 複写制限 有声/カラー 70分

戦後10年から1970年代の沖縄の様子。土地接収や土地闘争、瀬長那覇市長の就任と米国民政府による追放のてん末、マッカーサー来沖、佐藤総理来沖と抗議デモなど、ニュースが伝えた復帰前後の沖縄。

注記：50分20秒から56分38秒の間の読売国際ニュース№1168は、ほぼ音声無し。

[制作/株式会社 読売映画社]



18. 復帰協闘争史

1960～1977年 [0000106162] 複写制限 有声/カラー 40分

復帰協戦後から日本復帰までの足跡。

[制作/沖縄県祖国復帰協議会]



19. 海を越えてこの感激を 沖縄県祖国復帰記念式典

1972年 [T00002950B] 複写制限 有声/カラー 36分

ブラジル県人が盛大に祝った沖縄の本土復帰。地球の反対側での式典や雨のなかの反対デモとは全く対照的に祝賀が行われた。

[制作/南米グループ]



20. 若夏の鼓動

1973年 [0000013595] 複写制限 有声/カラー 59分

日本復帰を記念して開催された若夏国体の記録。日本の最南端で採火去れた炬火が八重山、宮古を経て本島を駆け抜ける様子や離島を含む各会場での熱戦の模様、沖縄らしいフィナーレがいきいきと映し出されている。

[制作/沖縄県・日本映画新社]



21. 琉球

年代不明 [0000033375] 有声/モノクロ 9分

復帰前の沖縄の姿を政治・経済・教育などさまざまな分野を取り上げて紹介する。(映像は途中9分で切れている) 議会、国際通りの活発な商業活動、住宅街建設事業、赤ちゃんの検診、琉大のキャンパス、石垣測候所などが紹介されている。立法院ビル、山形屋、国映館、沖縄タイムス、中央診療所、琉球大学首里キャンパス、図書館、家政科教室、石垣測候所、琉球放送など。

[制作/琉球列島米国民政府]



22. 琉球大学 /University of the Ryukyus

年代不明 [0000065885] 無声/カラー 15分

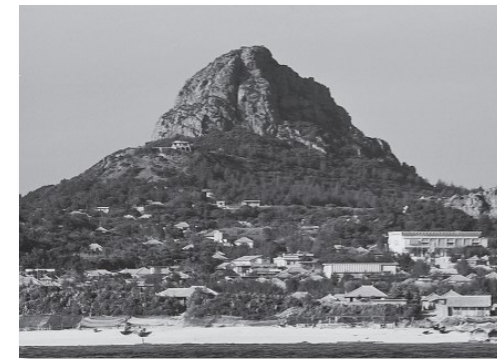


23. アクアポリス

1975年 [0000072242] 複写制限 有声/カラー 25分

沖縄海洋博1975年(7月20日～1976年1月18日)の目玉として設置されたアクアポリスにこめられた未来の海上都市の夢が語られる。三菱重工広島造船所での建造から会場の本部町での公開までを追い、その構造的特徴や海洋博客の反応などをまじえて紹介している。海の可能性を望ましい未来の姿を強調。会場(本部町)での係留作業。アクアポリスの機能のすべて。「これがアクアポリスだ」的内容で非常にわかりやすい内容となっている。

[企画:三菱重工業(株) 制作:シュウ・タグチ・プロダクションズ]



24. 記録映画 人間の住んでいる島

1996年 [T00012305B] 複写制限 有声/カラー 32分

米軍の土地接収に抗議する伊江島土地闘争の中心的存在であった阿波根昌鴻が93歳の時にカメラに向かって述べた貴重な証言。激しい戦闘、戦後の基地反対闘争、米軍との対峙という過酷な状況にありつつも、尊厳に満ちた戦いの足跡をたどるドキュメンタリー。

[企画製作/「人間の住んでいる島」製作委員会]



25. 戦後50年沖縄女性のあゆみ

1997年 [G00024125B] 有声/カラー 30分

沖縄戦や収容所生活、基地内での労働や参政権運動、米国留学など、沖縄の女性の歩みをたどる記録。また沖縄の歴史と婦人会活動の関わりも興味深い。

[制作/沖縄県・シネマ沖縄]



26. 沖縄県公文書館の役割と利用案内 ～未来へ歴史資料を引き継ぐために～

25分

[制作/沖縄県文化振興会]